

# 平成24年度 企業間等連携支援事業（Aタイプ） 東北航空宇宙産業研究会



## 「東北地域の企業連携による JA2012国際航空宇宙展への出展事業」

### 【事業目的】

東北地域の航空宇宙事業を発展させようとする企業と、それを支援する官学が連携し、東北パビリオンとして出展し、出展企業の宣伝広報のみならず、東北地域の航空宇宙産業の事業環境の良さを訴求して、同産業の集積を図る。

### 【事業実施状況・成果】

「JA2012国際航空宇宙展」  
日にち：2012.年10月9日～14日

東北航空宇宙産業研究会（青森2社、秋田3社、山形1社、福島1社、（独）産業技術総合研究所東北センター、東北経済産業局）、みやぎ航空機市場・技術研究会（宮城4社）、Airs Miyagi（宮城6社）、東北大学で共同出展した。

展示会には、会期中45,000超の入場者があった。東北パビリオンには、その約1割程度が来訪したとみられ、ブース担当者とお刺し交換に至ったのが1,000名である。出展から1ヶ月以内での商談成約、或いは、成約の見込みの総額は5,000万円を超えた。

### 【今後予想される事業効果】

出展企業によって航空宇宙産業への取り組み段階が異なるため、それぞれ効果は異なる。現在の主要事業の成長性に問題を認識し、新規展開業種探索の一環として参加した企業（アルバック東北）は、商談は低調だが他社の展示を見聞きし大いに参考とし、今後の経営戦略策定の基礎となる。

既参入企業にとっては、既存顧客に加えて業態の近い顧客への横展開の機会となった。例えば、航空機器メーカーへの納入をしている企業（橘機工）は、その実績を基に他の航空機器メーカーへの展開の可能性が出てきた。また、航空機の洗浄に用いる機器を展開する企業（アキモク鉄工）は、B2Bミーティングによって米国に航空機関連機器を輸出する商社等と面談し、海外マーケティングに関する専門的な情報を得ると共に、海外展開への足がかりを得た。